

桜工

2024

令和6年能登半島地震で被害を受けられた
皆様に心からお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧・復興を
衷心よりお祈り申し上げます。



目次

新会長・前会長挨拶	
風通しが大事、継続が大事、コミュカ（人間力）の日大生	
	「加藤 透」…………… 2
日本大学にエールを	「外山 勉」
新学部長挨拶	
理工学部長に就任して	「轟 朝幸」…………… 3
活躍する校友 ～女性の活躍を中心に～……………	4
市村 亜美／横村 隆子／吉野 睦示／古峯 佳奈	
山田美穂子／近藤 友紀／小澤亜由美／長井裕美子	
柴田（原）愛美子／高山百合子／三瓶 祐子／遠山 勝久	
伊藤みなみ／森田早耶香	
入試・進路……………	11
理工学部就職支援サイト～リニューアル～……………	14
部会だより……………	16
土木／建築／機械／電気／工業化学／交通／精密機械	
物理／数学／海洋建築／航空宇宙／電子／まちづくり／情報	
支部一覧……………	23
支部だより／クラス会だより……………	25
事務局だより（事務報告・収支報告等・会費納入者名簿）……………	30
理工学部・校友会 NEWS……………	34
令和5年度理工学部校友会奨学生	
令和5年度理工学部校友会工科系支部長会ならびに懇親会	
令和5年度ホームカミングデーならびに懇親会	
各部会講演会活動報告	
教育支援 ～未来博士工房～……………	37
ホームカミングデー……………	38
令和5年度桜工賞受賞者一覧……………	39

新会長・前会長就任挨拶

風通しが大事、継続が大事、 コミュカ（人間力）の日大生

会長 加藤 透

（精密機械工学科：S 49 年卒）
（機械工学専攻 修士課程：S 51 年修了）

外山前会長の後任として今期から第 28 代理工学部校友会会長に就任しました加藤透です。精密機械部会長を 2 期 6 年間務めておりました。

日本大学関係各位と会員の皆様からのご支援・ご助言をいただき、諸先輩が築かれた伝統を大切にしながら、本務を全うする所存です。

本会は学部学科毎に設置されている 14 部会と全国各都道府県に設置されている 39 支部及び各職場に設置された 12 職域支部等 24 万人の正会員を擁しています。

本会が実施すべき通常業務は、学部毎の各部会と連携し、会員の皆様が親密さを感じて頂けることを目的に実施しております。そのため、各部会に所属する常任幹事には出来るだけ若手が参画出来るよう努めております。

本会では、大学への支援、校友の親睦を深めるべく、次のような各種活動を行っています。1. 学生会員の就職活動支援・講演会開催、2. 卒業生の名簿整備、3. 機関誌桜工の発行、4. 会員（卒業生）が母校を訪ねるホームカミングデーの学部との共催、5. 学生の自主教育研究活動である未来博士工房への支援、6. 学生就学支援へ奨学金の充実、7. 支部との協力を強化する支部長会開催。

令和 5 年度は、6 月 30 日の総会から各委員会活動を開始しており、10 月 7 日（土）には 4 年ぶりに対面での日本大学工科系校友会支部長会を実施し、支部の現状報告や意見交換を行い、問題意識の共有化を図りました。翌 10 月 8 日（日）には 5 年ぶりに理学部ホームカミングデーを理学部と共催で実施することができました。久しぶりの実施で多数の校友の皆様が、年次を超えて親睦を深めていました。今後も、継続的に実施してゆく必要性を再確認したところです。

また、リニューアルした就職支援システム（就職と求人のマッチングサイト）の使用を 8 月末から開始しており、登録者が段々と増えてきております。校友の皆様ならびに企業の皆様のご活用・ご登録をお願いいたします。

夏から秋に多く行われる支部総会には会長、副会長が出席して支部の皆様と意見交換をすることが出来る良い機会となっています。

また、日本大学工科系校友会（理工、生産工、工、薬学部で構成）は意見交換、問題意識の共有化を図っており、本部校友会の改革に対応を図って参ります。

このような主な活動の他、入学希望者への支援など、大学や校友への支援を継続的に実施してまいります。

今後も引き続き、皆様のご支援、ご協力の程、よろしくお願いたします。



日本大学にエールを

前会長 外山 勉

（建築学科：S 51 年卒）

日本大学理工学部校友会の皆様には、日頃よりご指導・ご鞭撻を賜り厚くお礼を申し上げます。

令和 6 年 1 月 1 日の能登半島地震の発生により、被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。そして 1 日でも早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

さて、私は令和 5 年 6 月の通常総会において、理工学部校友会会長を退任いたしました。会長職でありました 3 年間は、コロナ禍で如何に校友会の事業を行うかの試行の連続でありました。

さらに、令和 3 年 9 月から令和 5 年 2 月まで、日本大学創設以来の理事長と理事による不祥事があり、日本大学の改革に伴い校友会改革も提唱され、その校友会改革会議に翻弄された期間でもありました。

しかし、コロナ禍のために理工学部校友会の事業活動が制限された期間ではありましたが、理工学部の学生に対しては奨学金の支給や未来博士工房の活動支援、卒業生に向けた就職活動支援等を行うことができました。また、工科系校友会の絆を図るべく、地方ならびに職域支部とのオンライン支部長会議をチャレンジ開催したこと、校友会誌「桜工」を予定通り発刊出来たことなど、コロナ禍以前と変わらぬ成果をあげることができました。

これも、偏に理工学部校友会役員と事務局員、そして卒業生の皆様が支えてくださった賜物と深く感謝申し上げる所存です。

日本大学は、アメリカンフットボール部の学生が起こした大麻事件や、事件発覚後の日本大学執行部のマスコミや文科省への対応など、悪いニュースもありましたが、スポーツでは日大生や OB・OG の頑張る姿があり、良いニュースがたくさんありました。陸上界では、OG である北口泰花さんがブタベストの世界選手権で金メダルを取り、パリオリンピックのメダル候補に躍り出ました。ゴルフ界では現役学生である杉浦悠太さんがプロトーナメントでアマチュア優勝を飾りプロに転向しました。正月の箱根駅伝（4 年ぶり 90 回目）ではシード権には届きませんでしたが総合 15 位となり、復活の嬉しい兆しを見せてくれました。アスリートが躍動する姿は、私たちに夢と感動と力を与えるものです。スポーツ以外でも、学生の活躍している記事が日本大学ホームページに掲載されている事にも感激しています。

日大の改革は、令和 4 年 7 月に新執行部ができ改革を進めておりますが、世間ではいまだになされていないと批判されています。しかしながら、一朝一夕で簡単に改革がなされるとは思えません。

学生や教職員は、社会の批判に耐えて頑張っていることと思います。私は日大の OB の一員として我が日本大学をこれからも積極的に応援して行きたいと思っています。

頑張れ日大、日本大学 永遠なれ！

結びとなりますが、皆様大変お世話になりましたことに感謝申し上げますとともに、皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶と致します。3 年間ありがとうございました。



新学部長挨拶

理工学部長に就任して

理工学部長 轟 朝幸

(交通土木工学科：S 63 年卒)
(交通土木工学専攻 博士後期課程：H 5 年修了)

令和 5 年 10 月に第 17 代理工学部長に就任しました。学生や教職員一人ひとりが夢を追いかけ、心躍るキャンパスにしたいと考えており、その実現に尽力して参ります。校友の皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



さて、令和 6 (2024) 年の干支 (十干・十二支) は「甲辰 (きのえ・たつ)」です。『日本大学広報』新春号に、学祖 山田顕義先生は 180 年前の甲辰 (1844 年) 生まれとの記事がありました。実は私も甲辰 (1964 年) 生まれで、学祖と同じ干支であることは大変光栄であり、僭越ながら親近感を覚えました。「甲」は十干の最初で、物事の始まりを意味し、「辰」は昇り龍のように勢いよく活気あふれた様を意味することから、「新しいことに挑戦して成功する」年になると言われているそうです。

しかしながら、今年は年始より能登半島地震および羽田空港での航空機衝突事故などの大惨事が続きましたが、復旧復興および再発防止などに校友が尽力されていることも聞こえてきております。被害に遭われた方々にお見舞い申し上げますとともに、復旧復興、再発防止にご尽力されている皆さまに敬意を表します。理工学部の前身の日本大学高等工学校は大正 9 (1920) 年に創設され、その直後の大正 12 (1923) 年に関東大震災に見舞われました。この復興事業に卒業生らが活躍したとの記録があります。

現在も令和 3 (2021) 年より理工学部が主導して「日本大学災害研究ソサイエティ」を立ち上げ、災害に関する様々な知見を集めて、学問領域の枠を超えて取り組んでいます。研究成果は社会実装されてこそのものであり、復旧復興および今後の備えのために貢献できるよう尽力しています。この災害研究はひとつの事例ですが、ロボティクス研究、医工連携研究、宇宙開発プロジェクトなど、他学部と連携して社会貢献を進めています。総合大学である長所を活かした活動を展開しており、工科系校友会に限らず、全学校校友会との連携、ご支援ご協力をお願いしているところです。

日本大学はいくつかの不祥事に直面し、そこからの真の復活を目指す年となるべきです。この件では校友の皆さまにはご心配ご迷惑をおかけして申し訳ございません。皆さまの信頼を回復すべく尽力しており、引き続きご支援ご協力をお願いする次第です。林真理子理事長の新体制で検討してきた「日本大学未来構想」は、30 年後、50 年後も愛され、親しまれ、社会から求められる教育機関であるために建設的な議論を積み重ねています。4 月からは理工学部電気工学科の大貫進一郎教授が学長に就任します。日本大学という「全」のなかで理工学部らしい「個」の存在意義を発揮して、「全」を巻き込んで牽引していく気概で臨んでいきたいと思っています。

「人間万事塞翁が馬」の故事が如く、自然災害、コロナ禍、不祥事

などは必ずや次は幸運につながるものと信じています。社会は大きな変革のときを迎えています。SDGs やダイバーシティなど価値観のパラダイムシフトが起き、生成 AI やロボティクスなどの技術イノベーションは著しく進歩しています。この変革には、一人ひとりの夢、社会全体の夢、「自主創造」の力、そしてそれを共に実現する仲間が不可欠です。校友の皆さまと共に、次への挑戦を続け、豊かな未来の構築に結びつく年となればと願っています。



「災害研究ソサイエティ」にて開発中の避難誘導アプリの実証実験
(船橋キャンパス避難訓練 2023 年 9 月に)

【轟 朝幸】(とどろき ともゆぎ)

- 1988 年 日本大学理工学部交通土木工学科卒
- 1993 年 日本大学院理工学研究科博士後期課程修了
- 1993 年 日本大学助手
- 1994 年 東京大学助手
- 1996 年 東京大学講師
- 1997 年 高知工科大学助教授
- 2003 年 日本大学助教授
- 2007 年 日本大学准教授
- 2008 年 日本大学教授

専門分野：交通計画、公共交通、空港計画

轟朝幸先生の理工学部長就任を祝う会



(撮影：角 耀)

令和6年3月13日 於 東京ガーデンパレス
理工学部校友会と理工学部交通システム学科・理工学部校友会交通部会・わたちの会の共催
参加者：理工学部役教職員、理工学部校友会役員

編集後記

2024年の年が明けた元旦に能登半島地震、また2日には羽田空港での飛行機事故が発生いたしました。被災された方々にお見舞い申し上げます。

このような衝撃的な新年のスタートとなりましたが、会員の皆様にとって大きな混乱が生じない年となることを祈願いたします。

本学においては、度重なる不祥事に対し、組織の統治問題が指摘され、ガバナンス体制が見直されています。本部校友会組織の体制も刷新され、本学部校友会においては、新会長となりました加藤 透会長から、これからの校友会活動について執筆していただきました。また、本学部の活動においても、轟 朝幸新学部長から取り組みについて執筆していただきました。

なお、本号の特集は、現在、『女性活躍推進法』の施行によって社会的風潮となっている点から、「活躍する校友～女性の活躍を中心に～」というテーマでいろいろな社会で活躍されている女性の方々（OG）の活動を寄稿していただきました。

また、恒例の「部会だより」「支部だより」では、アフターコロナにより活動範囲が緩和されたことから、対面等による活動内容の便りの数が増加し、国内の経済・文化等の社会活動は正常化に向けて大きく前進していると感想を抱きました。

最後になりますが、ご寄稿をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

(会誌委員長 伊藤 和宏)

会誌委員会 (委員長◎、副委員長○)

◎伊藤 和宏 ○佐藤 信 ○安部 明雄 間宮賀津仁 野口 光徳 大貫 浩嗣 山崎 栄介 富永 茂
宮城 徳誠 一柳 龍伸 三浦 光 荒井 滋人 梅津光一郎 滝瀬 敦士 田畑 昭久 居駒 知樹
佐々木芳樹

- 住所表示・勤務先・電話番号等の変更は事務局までご連絡下さい。
 - クラス会等に「桜工」をお送りいたします。(実費&送料が必要です)
 - クラス会の様子を桜工「クラス会だより」に掲載しませんか？
- 会合名・卒業年・学科・開催日時・場所・参加人数を含めお知らせください。
*各詳細・問い合わせ等は理工学部校友会事務局までご連絡ください。

〒101-8308
東京都千代田区神田駿河台1-8-14
日本大学理工学部内
日本大学理工学部校友会事務局(石黒・田中)
TEL: 03-3259-0650
FAX: 03-3293-1370
ホームページアドレス: <http://www.koyukai-cst-nu.jp/>
メールアドレス: alumni@koyukai-cst-nu.jp

令和6年度通常総会開催予定

日時: 令和6年6月28日(金)
会場: 東京ガーデンパレス

令和6年3月25日発行

日本大学理工学部校友会

(日本大学工科技校友会)



編集・発行者 伊藤 和宏
〒101-8308
東京都千代田区神田駿河台1-8-14
電話 03-3259-0650
FAX 03-3293-1370
印刷所 株式会社 愛甲社